

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	30-11
PDCA	主要事業名		学校給食センター管理運営事業		部課名		教育部学校教育課 (学校給食センター)			担当	新美
										内線	28-2461
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 94,956 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 09.06.03.02.03				
	事業概要等		事業概要： 食中毒、異物混入などの事故を防止し、給食を安定供給するため、衛生管理を徹底するほか、委託業者等と協議しながら施設、設備、調理機器の保守管理、修繕を適切に行う。								
			事業目的： 適正な衛生管理のもと機能維持や事故防止に努め、効率的な運営を図るとともに安全な給食を提供する。								
			事業内容： 施設、設備、調理機器の保守管理及び修繕、ボイラー運転及び保守、学校給食の配送業務等を行う。								
			問題点・課題等： 施設、設備、調理機器等の老朽化が著しく、突発的な緊急修繕が頻発する。								
	予算額		主要事業とする理由								
	94,956 千円		安全な学校給食の安定供給には、施設の衛生管理と効率運営、及び設備、調理機器の適切な修繕等の保守管理が不可欠であるため。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	94,563 千円		学校給食を安定提供する中で、徹底した衛生管理を行うことで、集団食中毒や異物混入等の事故防止につなげることができる。								
	国費										
0 千円											
県費		目標値や目指すべき状態									
0 千円											
その他											
393 千円											
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果								
	94,648 千円		衛生管理を適正に行うことで、集団食中毒等の重大な事故を防ぐことができた。委託業者への指導により、異物混入に対する監視体制を強化しているものの、異物混入事故件数については目標達成には至らなかった。								
			成果指標								
			令和4年度								
			単位								
			食中毒等問題発生件数								
			実績値								
			目標値								
			異物混入事故件数								
		実績値									
		目標値									
C 課題の整理	事業の評価・課題		委託業者への指導を徹底し、給食センター内での異物発見に尽力してもらっているが、大量の食材を限られた時間・人数で確認し、異物を完全に除去することは困難を極め、異物混入事故件数については横ばいの傾向である。引き続き、委託業者への指導を強化していくとともに、適切な施設・設備の維持管理に努める。								
A 課題今後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進								
			今後も学校給食衛生管理基準に基づく適正な衛生管理及び、施設・設備の適切な管理をすることで、食中毒等の事故発生を防止する。また、委託業者とも引き続き綿密な打合わせを行い、異物混入防止のための対策を講じていく。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい			⑦コスト削減 ない			
			②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある			⑧受益者負担適正化余地 余			
		③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない			⑧受益者負担適正化余地 余				